



健感発 1216 第 1 号

平成 25 年 12 月 16 日

一般社団法人日本ワクチン産業協会 理事長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長



## 開発優先度の高いワクチンの研究開発について（開発要請）

平素より、予防接種行政の運営に多大なご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 25 年 10 月 31 日に開催された第 5 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会研究開発及び生産・流通部会において、開発優先度の高いワクチンとして、①麻しん・風しん混合（MR）ワクチンを含む混合ワクチン、②百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合（DPT-IPV）ワクチンを含む混合ワクチン、③経鼻投与ワクチン等の改良されたインフルエンザワクチン、④ノロウイルスワクチン、⑤RSV ワクチン及び⑥带状疱疹ワクチンが選定されました。

また、同年 11 月 28 日に開催された第 6 回同部会において、百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合（DPT-IPV）ワクチンを含む混合ワクチンの開発に当たっての留意事項として、初回接種の接種時期については、現在の Hib ワクチン（生後 2 月～7 月に開始し、20 日から 56 日の間隔をおいて 3 回）にあわせる形で検討すべきとの方針が示されました。

上記の検討結果を踏まえ、貴会所属の会員企業に対し、これらのワクチンの開発を要請いたしますので、周知をお願いいたします。なお、開発する混合ワクチンの接種時期については、必要に応じ、個別にご相談いただきますようお願いいたします。

今後とも、予防接種行政へのご理解及びご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。